

助産雑誌 Back Number

★バックナンバーのお取り扱いについて

- ① 2018年2月号以降の雑誌は、医学書院受注センター(TEL: 03-3817-5666)にて承ります。
- ② それ以前の号についてのご注文や在庫のご照会などは、下記へお願いいたします。
株式会社東亜ブック 〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町 5-27-11
TEL: 03-5947-4781 FAX: 03-3923-4539

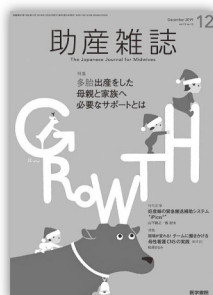


2020年1月号

特集

自由な発想で助産ケアを発信しよう
社会に広がる助産師の活動

本特集では、場に縛られることなく、自由な発想で広く社会に情報発信をし、母子と家族の支援を行っている方々の、助産や医療の視点だけに留まらない活動をご紹介します。特集を通じて、病院と、地域や社会がゆるやかに連携し循環することを願っています。



2019年12月号

特集

多胎出産をした母親と
家族へ必要なサポートとは
本特集では、多胎出産・育児への援助を必要とする母親と家族へのケア・支援を行っている団体、施設の取り組みを紹介します。追いつめられる母親を一人でも救えるよう、助産師をはじめとする専門職ができる支援やケアについて考えます。



2019年11月号

特集

「授乳・離乳の支援ガイド(2019年改定版)」をよりよく活用するために
2007年に作成された、保健医療従事者向けの「授乳・離乳の支援ガイド」が約10年ぶりに改定されました。本特集では改定版の概要や、改定版の主なポイントを解説します。本特集で、助産師さんがよりよくガイドを活用できるお手伝いができますように。



2019年10月号

特集

「助産師の自律」と「女性中心のケア」を実現するために
日本の助産師の技術はたいへん優れていますが、専門性を女性や家族に最大限に提供できていない印象は否めません。特集では、カレン・ギリランド氏来日時の講演内容を紹介し、女性を中心とした助産システムを実現する工夫を探っていききたいと思います。



2019年9月号

特集

みんなが参加したくなる
両親学級と母親学級のヒケツ
本特集では、両親・母親学級の「質」を高めるための疑問に答える記事を集めました。両親・母親学級の違いを明らかにすると共に、多くの学級を担当されている講師からのアドバイスや、満足度の高い学級を実践している医療機関の取り組みをまとめています。



2019年8月号

特集

分娩期と産後にも
活用したい超音波
本特集では、主に「分娩中」と「産後」の超音波の役立て方に注目し、超音波装置の使い方のポイントから、特徴的な画像の解説、骨盤底筋の評価方法などをまとめました。助産師が臨床現場で、今以上に超音波を活用できるヒントを紹介します。

2019年 特集

- 7月号 最新! マイナートラブルへのアプローチ
- 6月号 助産師が知っておきたい2週間健診&1カ月健診での母子支援
- 5月号 子どもを取り巻く現状に即した性教育とは
- 4月号 数十年先まで見据えた周産期のケア 尿失禁や骨盤臓器脱から女性を守る
- 3月号 お悩み解決! 指導者のための実習指導方法
- 2月号 最新! 妊婦への栄養指導
- 1月号 分娩を遅延させないために助産師ができること